



並木中等story

令和5年2月28日号

2月28日に実施した6年次生の同窓会入会式での校長挨拶の抜粋です。

ここで私から、二つほどお話をさせていただきます。

一つ目は皆さんの同窓会への入会により、**同級生の横のつながりに加え、縦のつながりができた**ということです。今後は同年代の横の仲間が減り、縦の先輩が増えてきます。皆さんを取り巻く環境が大きく変わるわけです。

しかし、安心してください。並木中等教育学校には優秀な先輩がいろいろな大学、大学院、職場にいます。この人たちとは並木中等教育学校の卒業生と話をしただけで仲間意識を持ってもらえると思います。皆さんは、進学後、困ったらどうしますか。是非、先輩がいれば先輩を頼ってください。きっと、助けてもらえます。そのためにも、並木中等教育学校卒の先輩にあったら、自ら「よろしく願いいたします。」と伝えてください。きっとそれが良い出会いとなるでしょう。出会いを大切にしてください。

もう一つは、社会の現実です。現在の社会も完璧ではありません。改善されてはきていますが、未だに納得できないことが多々あります。具体的には上司や取引先からハラメントを受けたり、理解しがたい仕事をさせられることです。怒鳴られる、ねちねち怒られる、辛く当たられるなどもあります。国内よりも海外はもっと深刻です。今だに、差別、過剰接待、賄賂の要求、裏切りは数知れずです。では、困難に出会った時は、どのようにしたらよいのでしょうか。心が傷ついた、夜に眠れないとなったら、同僚、先輩、話やすい人を捜しておき、その人に相談することをお勧めします。そして、一人で抱えないでください。場合によってはカウンセリングを活用してください。

人は話すことによって、頭を整理することができます。また、不安を軽減することができます。人はつながっています。つながりの中に解決のヒントがあると思っています。

《祝！第12回科学の甲子園茨城県大会V5！》

第12回科学の甲子園茨城県大会において、みごとAチームが優勝、Bチームが選考委員特別賞を受賞しました。Aチームは3月に開催される全国大会に出場します！科学の甲子園の県大会優勝は平成31年度の中止をはさみ、5回連続となります。おめでとうございます。